

JPR、国際物流総合展 2022 に出展
労働力不足や環境問題を緩和し持続可能な物流を実現するために
オープンシェアリングによる解決を提案



JPR ブース (イメージ)

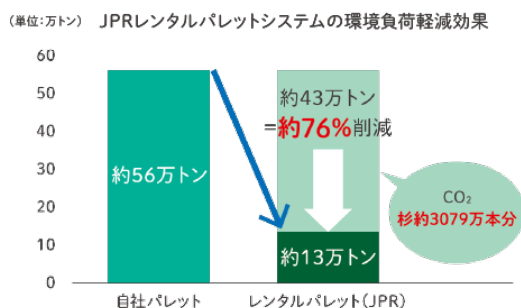
日本パレットレンタル株式会社(東京都千代田区 代表取締役社長 加納尚美 以下、JPR)は、9月13日(火)～16日(金)に、東京ビッグサイトにおいて開催される「国際物流総合展 2022」に出展します。

JPRは、ハードとしくみの標準化によって、企業と企業のつなぎ目をスムーズにするという特徴的な事業を展開しています。本展示会では、レンタルパレットをはじめ、AIによる共同輸送マッチングなど多様なサービスを「人と環境にやさしい持続可能な物流へ」をテーマに展示します。

▼展示サービスの一例 (パネル展示およびブース内でのセミナー)

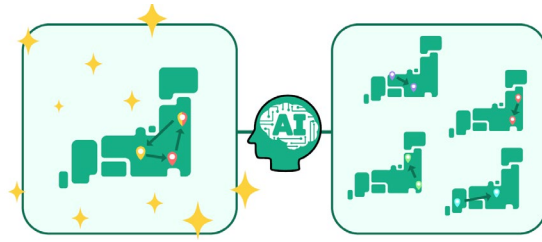
①レンタルパレットサービス

約1000万枚のパレットを運用する日本最大のシェアリングサービス。ハードとしてのパレットとロジスティクス機能などのしくみをパッケージ化することで、個々の企業がパレットを所有する方法に比べCO2の排出を76%*削減できるほか、一貫輸送によりトラックドライバーの負担を軽減します。



②共同輸送マッチングサービス TranOpt (トランオプト)

昨今注目される複数企業での共同輸送。トラックのシェアリングに際して、共同相手の企業探しは現実的な課題です。TranOpt は、AIにより膨大なデータから最適な共同輸送の相手をマッチングします。



*2007～2008年に実施した、国立大学法人東京海洋大学 流通情報工学科 黒川准教授(当時)との共同研究をベースに、2020年度の最新実績数値を用い、環境総合テクノス社による再計算および東京海洋大学黒川教授の監修を受け試算した値

▼JPRのサービスの特徴

近年、物流業界はトラックドライバーの不足への対応や、環境負荷軽減といった共通の課題を抱えています。個々の企業の物流が高度にシステム化されている一方で、企業と企業のつなぎ目では、現在も人手を介した作業など非効率が存在しており、企業の壁を越えた標準化や共同化の必要性が強く認識されています。

JPRは1971年の創業以来、パレットの標準化・共同利用を通じて企業と企業をつなぐシェアリングのしくみづくりに取り組んできました。近年ではその機能やノウハウを外部にひらく“オープンシェアリング”を推進。共同輸送マッチングサービスに代表される多様なシェアリングの創出に取り組んでいます。(図：人と環境の観点で整理したJPRのサービスと活動)

人にも環境にも優しい物流を。

事業以外でも優しく

環境活動に賛同・参画

Fun to Share
UNEP

フードバンク支援

木製パレットをアップサイクル

業界初の「グリーンローン」の契約締結

大学の講義で物流をPR

DX化してもっと優しいレンタル

パレット伝票の電子化
epal

パレット全面WEB化
WEB発注 WEB請求

デポの自動化

リユースとリサイクルをアップグレード

エコーマーク協賛企業としてこれからの環境に優しい物流を推進。

エコマーク
エコマーク

レンタルパレット業界で初めてエコシッパークラウド認定事業者として認定されました。今後は、廃上場品回収に積極的に貢献。

使用済のプラ製11型片面二面用パレット(P1-11)は、リユースを前提として高品質PT-11として生まれ変わります。

JPRの専用倉庫・新田エコフラッシュ(株)は、廃プラリサイクルが得意なプラ製パレットをリサイクルパレットも開発中。

レンタルパレットのCO₂削減効果約76%

JPRレンタルパレットによる共同利用・共同回収で運営すると、各企業がそれぞれ独自パレットで運用したときに比べ、年間約4万1千枚のCO₂が削減されることになりました。これは、約307万本の年間CO₂削減に相当します。(2019年5月の1年間、約14kgCO₂を吸収すると想定)

69 - 削減率(%)
68
67
66
65
64
63
62
61
60
59
58
57
56
55
54
53
52
51
50
49
48
47
46
45
44
43
42
41
40
39
38
37
36
35
34
33
32
31
30
29
28
27
26
25
24
23
22
21
20
19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1
0

約5.5万t
約4.7万t
約0.8万t

JPRレンタルパレットシステムの環境負荷削減効果

CO₂削減効果約76%

オープンシェアして、もっと優しい物流を

TranOpt
AI活用した共同輸送マッチングサービス TranOpt (トランオプト)

Logiarix
物流倉庫の管理アプリ
Logiarix (ログアークス)

共同輸送で効率化を実現

「物流環境大賞」特別賞受賞

「グリーン物流パートナーシップ全経優良事業者表彰」において共同受賞

「デジタル物流イノベーション」

回収機能をシェアリング
パレットの共同回収をシェア

マネジメント機能をシェアリング
マシントラック管理代行に連携

同業他社と協働
X-Rental
オープンプラットフォーム

パレットのシェアは、適正数量で(リデュース)、繰り返し使えて(リユース)、人にも環境にも優しい。

共同回収システムで効率的なトラック運用が可能

保有数 約1,090万枚

年々出庫数 約4,730万枚

補修や整備を行うことで、パレットの耐用年数が長寿命

JPR サービスの特徴とオープンシェアリングについての考え方については、こちらもご参照ください。社長メッセージ (<https://www.jpr.co.jp/company/msg/index.html>)

■本件に関するお問い合わせ先

日本パレットレンタル株式会社 広報部 広報グループ 那須

Tel : 03-6895-5215 / Mail : pr@jpr.co.jp / URL : <https://www.jpr.co.jp>

日本パレットレンタル PR 事務局 (株イニシャル内) 担当 : 羽切・岸本・西野

Tel : 03-6821-5730 / FAX : 03-5572-6065 / Mail : jpr-pr@vectorinc.co.jp